

地球温暖化を **STOP!** 見直そう私の暮らし

夏の猛暑や記録的な豪雨、猛烈な台風による被害。その原因は、私たちの暮らしにあるのかも。今回は、

「数十年に一度」と言われる災害が頻繁に起こっています。地球温暖化、そして私たちにできることをじっくり考えます。

もしこのまま **気温** が上がると……



気温が **1.5度** 上昇すると

「10年に一度の豪雨」の頻度が **1.5倍** に



気温が **2度** 上昇すると

大多数の生態系は現在の状態を保てなくなり、**絶滅の危機**に



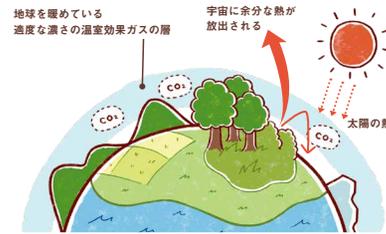
気温が **4度以上** 上昇すると

世界中で野菜や果物が育ちにくくなり、**収穫量が大幅に減少**

IPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書 政策決定者向け要約 暫定訳 (文部科学省及び気象庁)、スターン・レビューExecutive Summaryをもとに作成

地球の気温が
上がっている

昔
CO₂の排出が
少なく暮らしが
していました



今
CO₂の排出が
多くなり暮らしが
なりました



もともと地球の大気中には、二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの「温室効果ガス」があります。温室効果ガスは、地球に届いた太陽の熱をつかまえ、地球を暖める働きがあり、生きものが快適に暮らせる温度を保っていました。

ところが今、この温室効果ガスが急激に増えています。石炭や石油、天然ガスといった化石燃料を使う量が増え、大気中に多くのCO₂が放出されているからです。化石燃料を使って生み出されているのが、私たちの便利な暮らし。電気・ガス・ガソリンなどを使い、快適な生活を手に入れた結果、温室効果ガスが増えすぎ、熱が地球に残ってしまい、気温が上がっています。これが「地球温暖化」です。

次のページでは、コープデリの取り組みを紹介します！

世界共通の目標である「SDGs」(持続可能な開発目標)では、「気候変動とその影響に立ち向かうために、緊急の対策をとること」を掲げています。人間が豊かなくらしを送ることでCO₂の排出量が増え、異常気象などが発生し、私たちが生きものくらし、そして地球の未来が脅かされています。世界のあらゆる人に、今すぐ行動を起こすことが求められています。



世界、そして
日本の目標

ESD
SDGs
目標13

2020年10月、日本政府は「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること」を宣言しました。これに向けて、2030年に46%削減(2013年度比)を目指すことを表明しています。

日本の目標

2015年の「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)」で採択された「パリ協定」。世界共通の目標として、次のことを掲げています。

世界の平均気温の上昇を、産業革命以前に比べて2度未満、できれば1.5度以下に抑える努力をする。

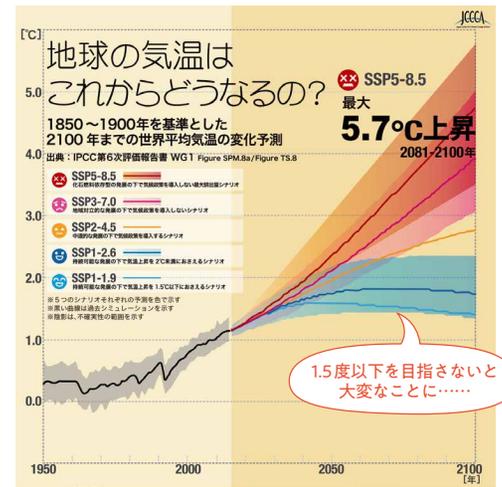
そのために、世界の温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量のバランスを取り、21世紀後半には排出量を実質ゼロ(カーボンニュートラル)にする。

パリ協定

世界の平均気温は、1880年から2012年までに0.85度上昇しました。すでに日本をはじめ世界の各地で異常気象が発生し、これらは地球温暖化の影響と言われています。

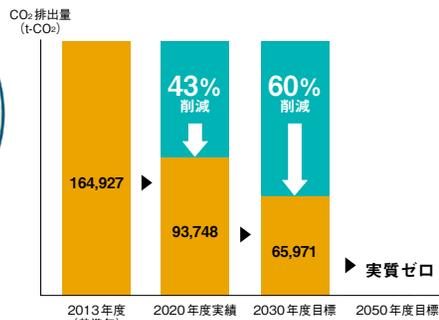
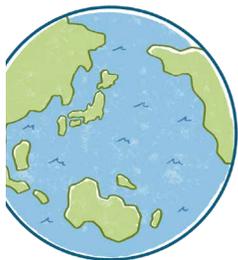
今すぐCO₂の
排出量を減らす
ことが必要

影響と言われています。このままの生活を続けると、世界の平均気温は今世紀末に最大5.7度上昇するとされています。今すぐ対策を取らなければ、80年後の地球は大変なことになってしまいます。今すぐCO₂の排出量を減らすこと、そのために化石燃料の使用量を減らし、エネルギーを持続可能なものに転換していくことが必要です。



出典: 全国地球温暖化防止活動推進センター

● コープデリの取り組み



を60%削減に引き上げます。さらに、「2050年度にCO₂排出量実質ゼロ」という高い目標を掲げます。
CO₂が排出される主な要因は、電気やガソリンなどで化石燃料を使用することです。このため、コープデリは①電気使用量の削減②重油燃料の低炭素化③再生可能エネルギーの創出と使用の拡大の3つに積極的に取り組み、CO₂排出量の削減、そして実質ゼロを目指します。

コープデリでは、CO₂排出量を削減するための計画を数年ごとに策定し、取り組みを進めてきました。現計画では「2030年度までに、2013年度比で40%削減する」としていましたが、2020年度に前倒しで目標を達成したことから、目標

**省エネ+再エネで
CO₂排出量削減、
実質ゼロを目指します**

コープデリは、人が自然と共生する持続可能な社会をつくり、次世代に継承していきたいとの願いを込め、「CO₂OP」ともにはぐくむくらしと未来」を理念に掲げています。一方、宅配やお店では、ガソリンや電気などのエネルギーを使い、商品を組合員の皆さんにお届けしています。だからこそ、地球環境により配慮するため、さまざまな取り組みを進めています。

**地球温暖化防止のための
コープデリの取り組み**

3 再生可能エネルギーの創出と使用をもっとひろげます

これまででも宅配センターやお店などの施設に太陽光発電パネルなどを設置し、再生可能エネルギーの活用を進めてきましたが、これをさらにひろげます。



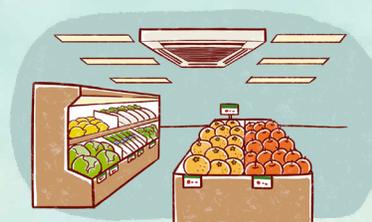
施設を新設・リニューアルする際は太陽光発電パネルを設置します。発電した電気をその施設内で使用します



産直生産者の農地に太陽光発電パネルを設置してもらうなど、産地とともに取り組みを進めます

1 電気使用量をさらに削減します

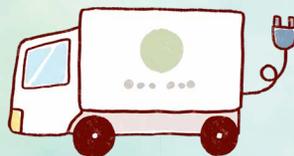
これまででも宅配センターやお店の冷蔵庫や冷凍庫、照明や空調設備を省電力タイプのものに切り替えており、これをさらに進めます。また電気をムダに使わないよう、運用をより工夫します。



お店では、冷気が逃げにくい扉付き冷凍ケースの導入を進めています

2 宅配車両の低炭素化を進めます

宅配センターなどで使っている車両に新しく電気自動車を導入できるよう、調査・実験を進めます。ガソリン車から切り替え、さらに使用する電気は再生可能エネルギーを利用し、全体でのCO₂排出量を削減します。また電気以外のエネルギーを使った車両も導入に向けて調査・検討します。



宅配の営業車で電気自動車を導入し、実験を進めています

未来へつなぐ

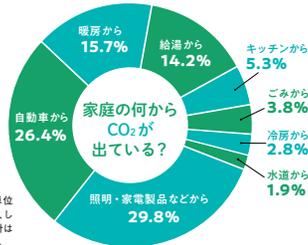
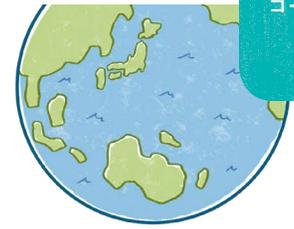
コープデリのエコ活

コープデリは、組合員の皆さんが環境問題を「知る・共有する・やってみる」きっかけづくりとして「コープデリのエコ活」に取り組んでいます。100年後に美しい地球を残すため、私たちの生活の中で

- ① CO₂ (温室効果ガス)
- ② 容器包装プラスチック (使い捨て)
- ③ 食品ロス (廃棄)

を減らすことを目指しています。コープデリは、「未来へつなぐ」のローガンのもと、SDGsの取り組みを進めています。





※各項目は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は100になりません

温室効果ガスインベントリオフィス/全国地球温暖化防止活動推進センター「家庭からの二酸化炭素排出量(2019年度)」より作成

いくことが大切です。それは我慢や無理をすることではなく、みんながちょっとずつ「気をつけること」。うちの中や移動中、お買い物など、できることはたくさんあります。「みんなのちょっとずつ」が、大きな力になります。

温室効果ガス、特にCO₂の多くは、人間が化石燃料を使うことで排出されます。それは遠い国の出来事ではなく、私たちの暮らしが大きくかわること。日本のCO₂排出量の約14%は家庭からです。そのうちの半分は電力からです。一人一人がくらしを見直し、エネルギーをより効率よく使うことで、CO₂の排出量を減らして

CO₂削減の「カギ」は 私たちのくらし

“ちょっとずつ”やってみよう

リビング編

- 室温は冷房時28度、暖房時20度を目安にする。
- 気候に合わせた過ごしやすい服装を心がける。
- エアコンの使用時間を1日1時間減らす。
- エアコンのフィルターをこまめに掃除する(月2回程度)。
- 扇風機やサーキュレーターを使って部屋の空気を循環させる。
- テレビをつけている時間を1日1時間減らし、明るすぎないように設定する。
- 使わない部屋の照明はスイッチオフ。

環境省「ゼロカーボンアクション30」などをもとに作成

“ちょっとずつ”やってみよう

キッチン編

- 冷蔵庫の中にはものを詰め込みすぎない。(引き出し式の冷凍室は隙間がない方がよい)
- 冷蔵庫は整理整頓し、開ける時間を短くする。
- 調理の際は、炎が鍋底からはみ出ないようにする。
- 炊飯器や電気ポットは長時間保温しないようにする。
- 食事は食べ残さない。
- 食器を洗うときはお湯を低温に設定し、流しすぎない。



“ちょっとずつ”やってみよう

バス・トイレ・洗面所編

- お風呂はこまめにシャワーを止める。
- 入浴後はタオルでしっかり髪を拭き、ドライヤーの使用時間を短くする。
- 洗濯物はまとめて洗う。
- トイレが電気便座の場合、設定温度を低くし、使わないときはふたを閉める。
- 歯磨き中、水を流しっぱなしにしない。



“ちょっとずつ”やってみよう

移動・サービス編

- 自家用車ではなく、できるだけ公共交通機関や自転車、徒歩を選ぶ。
- 宅配サービスはできるだけ1回で受け取る。



“ちょっとずつ”やってみよう

わが家編

- わが家オリジナルの「できること」を考え、実践してみましょう!
- 「これならできるかな?」「やってみよう」ということを探してみる。
 - それを1週間実践する!

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標13:

気候変動に具体的な対策を
につなげていきます。

